

#### A 確かな学力の育成について

- ・グローバル化の時代、英語検定合格者を伸ばすことが重要である。高校2年末での英語検定2級の合格率は上昇（12.3%→14.0%）し、準2級の合格率もわずかながら上昇（46.1%→46.4%）している。2級合格率の目標35%にはまだまだ届いておらず、今後も目標を下げることなく、2級合格者を20%～30%へ伸ばし、最終的には35%を超えるよう平常授業およびそれとは別の対策の両面で、弱点のリスニング指導等を中心に改善をはかる必要がある。またGTEC・TOEICにも力を入れ、様々な検定への受験機会を奨励することにより、合格に向けての底上げを図ってほしい。
- ・漢字検定においては準2級以上の合格率が目標の50%から大きく割り込み（31.7%）、特に準2級の合格率が令和5年度の47.3%から29.6%と激減した。3級合格率も85.5%→62.7%と大幅減少に転じたため、今後は全員3級合格を目標に取り組むことが重要である。
- ・数学検定においては、準2級の合格率が33.8%にとどまったが、一昨年は0名であった2級の合格者が4名出ている。今後も文系・理系の生徒を問わず合格率を高め、数学力を身につけることが重要である。

#### B 進路希望の実現について

- ・進路情報の提供や説明会の実施回数・質への評価が安定的に高く、他の私学と比較しても「丁寧に対応してくれている」という印象が際立っている。
- ・本校としては、難関国立大学（東京大学など）を目指すのではなく、より多くの生徒を近畿大学のほか、大阪公立大、大阪教育大、和歌山大など地元国公立大へ進学させることを主眼とした態勢を構築することが重要である。
- ・近畿大学進学者へは、進学後の状況調査および指導を実施している。これは、留年者や中途退学者減少に効果があり、今後も継続して行うべきである。

#### C リーダーシップ、人間力を高める取り組みについて

- ・生徒会および生徒会ボランティアスタッフの活動の幅が広がっていることは評価できる。今後、各種行事の運営を生徒会に委ね、教員指導のもと生徒の主体性や創造力、表現力を伸ばしていくべきである。また、地域住民も参加できる行事も考えてほしい。
- ・リーダー養成については、大学で行われるべきこととの差異も考察しながら、高校段階で行える内容をグローバルな視点も意識しつつ、積極的に取り組んでいくべきである。
- ・人間力の涵養については、本校生徒には入学後短期間で礼儀、挨拶の習慣が定着している点が評価できる。今後も日常の教育活動を通して、自主・自立の精神、人に「愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」を育成するための活動内容を精査すべきである。

#### D グローバル化への対応について

- ・グローバル化への対応については、ハワイでの修学旅行以外に、長短4種類の海外留学（語学研修）プログラムが用意されていることは評価できる。しかし、円安だけでなく現地の物価高騰により参加する生徒が非常に少ないため催行できない研修が出てきているので、対費用効果の高い魅力的な内容を提供できるよう検討すべきである。

#### E 地域・保護者との連携、社会貢献について

- ・文化祭及び体育祭への招待、清掃活動、マラソン大会への参加など、地域への貢献活動も行っており、近隣住民の評判が良好であった。今後、町内への回覧板、町内の掲示板へのポスター掲示により地域の方とコミュニケーションを図れる行事があれば、連携しさらに活動を広げて行き、地域貢献へ繋ぐべきである。
- ・保護者との連携に関しては、自己評価アンケート結果分析の方に記載。

#### F 健全な経営状況の維持

- ・令和3年度以降、入学者数が減少している。この傾向が続くことのないように、勉強しやすい学校環境を前面に出し学校説明会への積極的な誘致を行い、休日を増加することにより自らが計画を立て前向きに学力の向上を図る魅力的な教育活動の発信と従来以上に堺方面への生徒募集活動の充実を図るべきである。
- ・令和6年度には、体育館フロア改修工事を終え、警備員を廃止し、校門にモニター付きインターフォン、電磁ロック設置を行ったことは評価できる。施設整備については、生徒の安全・安心にかかわる部分を最優先で改善していきながら、全体については中長期的視野に立ってしっかりと計画的に行うべきである。
- ・スクールバス事業にて自校バス4台増車して運転委託会社を変更、ルート・便数の見直し、ガソリン給油会社変更により、約3000万の収支改善を行ったことは大いに評価できる。今後とも経費削減に努めてほしい。

#### 【その他】

- ・自己評価アンケートでの「要改善」項目をなくすよう努力すべきである。保護者への連絡や教員間の情報共有だけでなく、近隣住民への情報提供をより密にすることが重要であると思われる。
- ・ホームページについては、すべての行事について最新の内容がアップされており、学校内の様子が良くわかる点は評価できる。

学校協議会学外委員 地域中学校校長1名、地域連合自治会長1名、PTA会長1名、後援会会長1名、卒業生代表1名

学校協議会学内委員 校長、教頭（兼教務部長）、総務部長、事務長